



笠岡労働基準監督署長
小川 充彦

趣旨

岡山県内で労働死亡災害が急増したことから、岡山労働局が本年4月23日に「死亡労働災害多発警報」を発令し、6月30日までの間、情勢の周知、労働災害の撲滅に向けた自主的な取組みを呼びかけていました。

警報が解除され、全国安全週間（7月1日～7月7日）に入ったことを契機に、各事業場における労働災害防止のための自主的な取組みの実践及び定着を目的として、本パトロールを公開で実施することとしました。

岡山県内の情勢

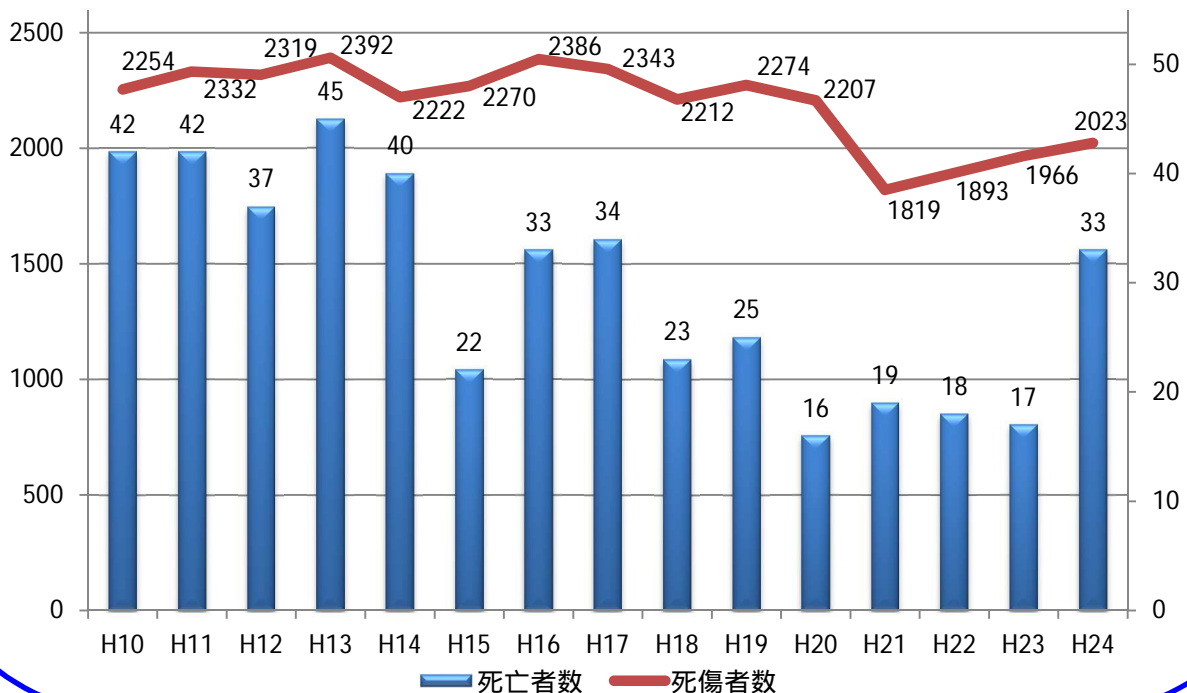
岡山県内では、労働災害は平成22年～平成24年まで3年間連続で増加しています。労働死亡災害については平成20年以降年間10件台後半を推移していましたが、平成24年は33件と大幅増加しています。

平成25年6月末現在の労働死亡災害は16件で、昨年同期に比べると3件減少しているものの、3月～5月の3カ月間で14件発生。墜落・転落災害が9件と大半を占めており、建設機械の転倒（3件）トラックからの墜落（3件）建築物等からの墜落（3件）となっています。

笠岡労働基準監督署の管内では

労働災害は平成21年から3年間155件～159件の範囲で推移していましたが、平成24年は165件と増加傾向にあり、労働死亡災害も本年4月に2件発生しています。

全産業死傷者数推移：岡山県内



パトロールでは主に次の事項を重点的にチェックしました

建設機械災害防止対策の状況

地山の崩壊災害防止対策の状況

作業現場の設備、作業方法の点検の実施状況

熱中症予防対策の状況



【労働災害防止の観点から】

本年発生した労働死亡災害をみると、どのような作業があるかを事前に検討し、基本的な対策を行うことだけで防げたと思われる災害も少なくはありません。大半を占める墜落・転落災害については、業種を問わず対策の確認と措置の徹底をお願いしたいと思っています。

また、昨年の岡山地方産業安全衛生大会のパネルディスカッションで得た「6つの提言」を踏まえた安全管理活動の促進、全員参加で実施する毎月1日の安全点検の実施など、労働災害防止活動を積極的に実施して労働災害の撲滅に努めていただきたいと思います。



笠岡労働基準監督署

～みんなで創ろう 職場の安全・安心～